

## 総合的な学習の時間学習指導案（展開案）

- 1 取 組 名 ROSEタイム
- 2 ね ら い ・ 主体的・対話的な学び合いを通して主体性を育成し、自己肯定感を培いよりよい人間関係を育む。  
 ・ よりよい人間関係の構築や人間関係の活性化に向け、「伝える力」を伸ばすことで、技能的側面からのアプローチとしてのコミュニケーション力を高める。
- 3 人権教育の内容 個性・能力の伸長 3－(1)ーイ、人間関係の活性化 3－(2)ーア
- 4 展 開 (帯の学習として年間 12 回実施する)

学習活動	指導上の留意点
<p>数学科教師は数学演習プリント、確認プリント、解説を準備しておく。ROSE タイムの一週間前を目安に、担任はプリントを配布し、チューターに事前学習をさせる。(質問がある場合は、数学科教師に聞きに行くように指示する。)</p> <p>授業開始までに、生徒は筆記用具・ファイル・ホワイトボードセット&amp;座席表・数学の教科書を準備し、座席をグループの隊形にする。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リーダーは前に出て挨拶する。(2分)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーは、各グループのチューターにコミトレ用紙を取りに来るように指示し、配布する。(チューターは ST の分の用紙を取る)</li> </ul> </li> <li>○ コミトレを行う。(10分)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2種類用の紙がある場合は、白色：チューター・グレー色：ST とする。</li> <li>・ 用紙はファイルに綴じる。</li> </ul> </li> <li>○ リーダーは各グループのチューターに演習問題を取りに来るように指示し、配布する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーはタイマー(7分)をセットする。</li> <li>・ 演習プリントに取り組む。(分かる所からでよい)</li> <li>・ チューターは、ST が問題に取り組む様子を見守り、必要に応じてヒントなどを伝える。</li> </ul> </li> <li>○ リーダーは答え合わせと教え合い学習の指示をする。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーはタイマー(10分)をセットする。</li> <li>・ チューターが答えを伝えて、各自赤ペンで答え合わせをする。間違ったところや分からなかったところをチューターが教える。</li> </ul> </li> <li>○ リーダーは各グループのチューターに確認問題を取りに来るように指示し、配布する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーはタイマー(7分)をセットする。</li> <li>・ 確認プリントに取り組む。</li> <li>・ チューターは、ST が問題に取り組む様子を見守り、必要に応じてヒントなどを伝える。</li> </ul> </li> <li>○ リーダーは答え合わせと教え合い学習の指示をする。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーはタイマー(10分)をセットする。</li> <li>・ チューターが答えを伝えて、各自赤ペンで答え合わせをする。間違ったところや分からなかったところをチューターが教える。</li> <li>・ ICT 授業支援ソフト(スクールタクト)の解答を見ながら各自赤ペンで答え合わせをする。間違ったところや分からなかったところをチューターが教える。</li> <li>・ 全問正解者は、チャレンジ問題に取り組む。</li> </ul> </li> <li>○ リーダーは振り返りシートの記入を指示する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーはタイマー(3分)をセットする。</li> <li>・ ファイルの振り返りシートを記入する。</li> </ul> </li> <li>○ リーダーは前に出て挨拶をする。(1分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員が起立し、体はリーダーに向けて挨拶ができるよう支援する。</li> <li>○ 全生徒に用紙が行き渡っているか確認する。</li> <li>○ コミトレを実施できるよう支援し、「話す力」の定着を図る。(初回は自己紹介)</li> <li>○ 机間巡視する。学習指導は基本的にチューターに任せ、教師は生徒を見守り、必要に応じて支援を行う。</li> <li>○ 分かる所から解かせる。</li> <li>○ 机間巡視する。学習指導は基本的にチューターに任せ、教師は生徒を見守り、必要に応じて支援を行う。</li> <li>○ 数学科代表者は、全生徒の ICT 授業支援ソフト(スクールタクト)に解答を送信する。</li> <li>○ チューターだけでなく、ST も積極的に言葉を発することができるように必要に応じて促す。(「分かった。」「どうして?」など)</li> <li>○ 分かる所から解かせる。</li> <li>○ 机間巡視する。学習指導は基本的にチューターに任せ、教師は生徒を見守り、必要に応じて支援を行う。</li> <li>○ チューターだけでなく、ST も積極的に言葉を発することができるように必要に応じて促す。(「分かった。」「どうして?」など)</li> <li>○ チャレンジ問題を終えた生徒は、チューターが数学の教科書の問題やオリジナルの問題を作成するよう示唆する。</li> <li>※ 何もしない時間を作らないよう支援する。</li> <li>○ チューターは工夫したことや次回に向けた取組を書く。ST はスコアとともに、分かったことや感じたことを書く。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間が足りない場合は、授業後に ICT 授業支援ソフト(スクールタクト)の解説を確認する。</li> <li>・ 他学年を教えるチューターは教室へ戻り、自学年のプリントを受け取る。</li> </ul>	